

大学評価学会 第13回全国大会

(第二次案内～2015年12月現在～)

大会テーマ

若者、地域とともに育つ大学～北海道から考える～

【大会コンセプト】

大学評価学会は、設立大会（2004年3月28日）で決議した「大学評価京都宣言＝もう一つの『大学評価』宣言」において、「本学会は、設置形態、教学内容、規模、立地など、それぞれの大学・短期大学が持つ多様性を考慮した大学評価を行い、高等教育研究機関の発展に貢献していきます。」と述べています。大学評価、政策、経営における「Diversity and Inclusion（多様性と包摂）」を、新しい十年に入って継続的に探求したいとの思いから、第12回大会（2015年、神戸学院大学）では「ジェンダー視点からのアプローチ」を設定しました。きたる第13回大会では、多様性の一つである「地域」に着目し、高校教育や若者支援にも視野を広げつつ、開催地である北海道の経験から大いに学びたいと思います。

大会の準備過程で「無償教育の漸進的導入」に係る公開研究会を開催し、「北海道における高等教育の権利保障をめぐる状況」（光本滋、2015.8.23.）、「北海道における私立大学・短大の二極化と大学経営」（片山一義、2015.11.15.）の報告をもとに事前検討を行いました（学会 HP 参照、<http://www.unive.jp/>）。浮かび上がったキーワードは、「北海道、開拓・開発、貧困・格差、札幌集中・過疎問題、地域創造、教育（権）保障、高校・大学等、若者、発達保障、移行支援、大学経営・評価」などです。それらを集約する形で、大会テーマを「若者、地域とともに育つ大学～北海道から考える～」としました。高校等の関係者も含めて、学会員を問わず道内外から、多数の方々の参加をお待ちしています。

日 時：2016年5月14日（土）～5月15日（日）

場 所：北海道大学 札幌キャンパス・人文・社会科学総合教育研究棟

住 所：〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

アクセス：JR、地下鉄南北線・東豊線 札幌駅下車、徒歩7～10分で「正門」到着

http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/151105sapporo_map.pdf

参加費：会員 1500円／会員外 3000円（申込不要）／院生学生等 1000円

懇親会：4000円（院生学生等 2000円／「院生学生等」扱いは会員・非会員を問わない）

連絡先：大会実行委員会 委員長・片山 一義（札幌学院大学 経済学部）

E-mail katayama@earth.sgu.ac.jp

事務局長・光本 滋（北海道大学大学院 教育学研究院）

E-mail mitumoto@edu.hokudai.ac.jp

TEL&FAX 011-706-3186（研究室）

5月14日(土)

9:00～ 受付

9:30～12:00 第1分科会(自由研究発表) 発表各30分(+総合討論30分予定)

[A会場]「未定」 司会:未定

[B会場]「未定」 司会:未定

自由研究発表は2016年1月31日まで受付中です。
第1分科会の詳細は、確定次第HPにアップします。
大学評価学会HPでご確認ください。 <http://www.unive.jp/>

12:00～13:00 昼食休憩(第VI期 第4回理事会)

(※会員控室、理事会)

13:00～13:50 第13回会員総会

14:00～17:45 シンポジウム

[基調講演] 14:05～15:00

未 定(依頼中)

[報告] 15:00～16:20

1) 三上 直之氏(北海道大学准教授[高等教育機能開発総合センター])

「(仮)地域における「つながり」に関する若者の意識

——北海道の高校生を対象とした調査から——」

主 著:「座談会 地域における「つながり」に関する若者の意識」『開発こうほう』(622)(2015)、『円卓会議方式による地域環境再生計画の策定過程の分析と評価』博士論文(2007)

2) 黒瀧 秀久氏(東京農業大学教授)

「(仮)地域に根ざして個性を磨き、地域社会の再生に挑む」

主 著:『日本の林業と森林環境問題』八朔社(2005)、『戦後日本林業における危機の構造と林業再構成の課題』博士論文(2000)

[討論] 16:30～17:45

指定討論 植田 健男

(名古屋大学教授/同教育学部附属中高等学校前校長/本学会代表理事)

全体討論

<司 会>光本 滋(北海道大学)、渡部 昭男(神戸大学/「無償化」科研代表)

18:00～19:45 懇親会

5月15日(日)

9:30～12:00 分科会(午前の部)

第2分科会 座長：細川 孝（龍谷大学）

「大学評価・大学経営」

テーマ：大学ガバナンス、そして教育の現場から見る大学評価・大学経営の改革課題

＜趣旨＞日本の大学のありようは、1990年代以降の新自由主義的・新保守主義的な「大学改革」によって、大きく変容してきた。その過程で、国公立大学の法人化、認証評価の法的義務付けを通じて、「大学評価」の時代が到来した。しかし、現在の大学評価は多様な大学評価とはほど遠く、教育や研究現場の課題はむしろ深刻化しており、そしてそれらを包摂する大学経営を改善するには至っていない。一方、2015年4月から施行された改訂学校教育法は「教授会の審議事項の明確化」という口実で、教授会の位置づけを大きく変更した。また、この間、学長の選出を構成員の総意にもとづかない形で行う動きが広がっている。このようなもとの、本分科会では、大学ガバナンスというトータルな視角から、そして教育現場の声を活かすためには評価はどうあるべきか、という最も基礎的な部分から大学評価と大学経営の現状を改めて把握し、改革課題について議論を深めたい。

- 1) 廣田 健（北海道教育大学釧路校）「北海道教育大学におけるガバナンス「改革」（仮）」
- 2) 小山 由美（日本大学）、佐藤 真由子（日本大学学生）、須藤 優衣（同）「教員と学生の協力が改善につながる——薬学教育の現場から」

第3分科会 座長：西垣 順子（大阪市立大学）

「発達保障」

テーマ：ノンエリート青年の大学教育と発達保障——なぜ大学に行き、学ぼうと思うのか

＜趣旨＞ユニバーサル化時代の大学生の特徴として、「学習動機が不明確」「無気力」などと記述されることは少なからずある。だが、実際にそういう学生の姿も見られるとしても、本当にそのような言葉だけで片付けてしまって良いのだろうか？ このような問題意識のもとで、本分科会では経済的に恵まれていなかったり、学力的にも恵まれなかったりする（少なくともエリート的な学力の高さを有するわけではない）青年たちが、それでも大学に行こうと考えるのはなぜなのかを考えたい。

- 1) 白波瀬 正人（学校法人野田鎌田学園あずさ第一高等学校）「通信制課程で学ぶ高校生の現状と課題——進路希望調査からの一考察」
- 2) 伊田 勝憲（静岡大学大学院教育学領域／元・北海道教育大学釧路校）「貧困・愛着・スクールカーストから考える進学動機」

[指定討論] 川原 茂雄（札幌学院大学）

12:00～13:00 昼食休憩（第VI期 第5回理事会）

（※会員控室、理事会）

13:00～15:30 分科会（午後の部）

第4分科会 座長：村上 孝弘（龍谷大学）

「教職協働」

テーマ：大学職員と専門的職員——両者の関係と今後の課題

＜趣旨＞「大学のガバナンス改革の推進について（審議まとめ）」（2014年）以降、にわか
に大学職員の専門性や専門的職員の議論が盛んになってきた背景を踏まえて、その経緯を
整理するとともに、これまでの専門的職員の制度の課題や今後の展開について総合的な検
討をおこないたい。また、英米の大学における教員以外の（IRer等の）専門職の在り方や、
日本の図書館における専門的職員の現状、更には日本の大学職員が民間企業の事務系総合
職や事務系公務員同様のジェネラリストである、という点にも着目して、これまでの大学
職員論、大学職員の専門性、専門的職員論の総括的把握もおこなう。

〔趣旨説明〕 菊池 芳明（横浜市立大学）

- 1) 高野 篤子（大正大学）「英米の大学職員について——日本との比較的考察」
- 2) 梶原 茂寿（北海道大学）「学術情報のオープン化時代に求められる大学図書館職員の
専門性」

〔指定討論〕 深野 政之（大阪府立大学）

第5分科会 座長：小池 由美子（埼玉県立川口北高等学校）

「高校教育・高大連携」

テーマ：高大接続と社会参画の在り方——高校・大学をつなぐ主権者教育と地域づくり

＜趣旨＞社会参画の視座から高大接続の教育課題にアプローチする。公職選挙法が改正さ
れ、18歳選挙権が日本においても実現し、高校生・大学生の社会参画促進が期待される。
しかし先の総選挙では20代の投票率が32.6%という実態がある。高校生に望まれる主権者
教育の課題は何か、大学教育における主権者としての自覚を促す課題は何かが改めて問わ
れる。国からの政策で大学「改革」が進められる下、大学づくりと学生参画とも関わる課
題である。同時に主権者教育とは、国政のみならず地域社会への参画課題でもある。北海
道から、地域づくりに主権者として高校生・大学生がどのように参画しているか、実践と
理論を深める。

- 1) 姉崎 洋一（北海道大学名誉教授）「地球市民教育と主権者教育の結合の理論と実践課
題」
- 2) 池田 考司（北海道立奈井江商業高校／臨床教育学会副会長）「若者が主権者になるこ
とを保障する政治教育を」

15:40～16:30 総括討論

司会：日永龍彦（山梨大学／本学会副代表理事）

＜大学評価学会共同事務局＞

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11 神戸大学発達科学部 渡部昭男研究室

akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp TEL/FAX078(803)7726

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学経営学部 細川孝研究室

（会費・発送・HP管理）hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp TEL075(645)8634